



一昨日・昨日

火曜日の放課後に「拡大学年会」というものが開かれた。これは、3学年の授業を担当している先生方に集まって頂き、君たちの成績状況や現在の第一志望などを知って頂いてこれからの指導に役立てて頂くとともに、それぞれの先生方から君たちの学習状況なども伺って、我々担任団としての指導にも役立てようという会である。

1・2年生までの会では、各クラスごとに生活上あるいは学習上で課題を抱えている生徒や、逆に頑張っている生徒などを具体的に挙げてもらい、今後の指導に役立てるということが主たる目的となるのだが、さすがに3年生ともなると、君たちの進路ということを見据えた内容となる。だから、1年から3年までの成績状況を提示すると、例えば「○○君は、この科目が強いけれど、逆にこの科目は弱いから、同じ一橋大学の中でも●●学部の方が合格可能性が高くなるのではないか」とか、「○○さんは、まだ社会科が十分に伸びていないが、今後そこをしっかりとやれば、●●大学にも挑戦できそうだ」といった具体的な話まで出てくることになって、担任としてはなかなか参考になるのである。

ただ、あくまでそれはデータに基づく話なのであって、担任は担任として君たちと面談を重ね、君たち一人一人の思いや願いを知っているわけだから、自分の目指したい大学・学部に進んでもらいたいというのが基本的な考え方である。しかし、例えばどうしても浪人をしたくないと思っている諸君もいるだろうし、また、医学部志望の諸君には、本当に首都圏にこだわる必要があるのか、そうでな

いなら、地方の医学部を考える手もあるのではないかといったことも頭の片隅に置きつつ、成績の推移によっては今後の面談などに役立てようと思ったりもするわけである。

*

昨日、体育大会で3学年の第1位になったクラスの担任が、ハーゲンダッツの安売りの店を探して大騒ぎをしていた。クラスが1位になったので、生徒全員にご馳走してやろうということらしい。

しかし、そもそも生徒に「ご馳走する」という発想が私には分からない。頑張ったのだから十分に賞賛するだろうし、褒めるだろうとも思うのだが、それが「ご馳走」となるとどうなのかなあ…とってしまうのである。むしろ、私はそういう行為を「餌付けーしょん(educationのもじり)」と名づけて、如何なものかと思っている。ただ、今回そういうことを言うと、「自分のクラスが1位になれなかったからではないか」とか突っ込まれそうなので、黙っているわけだ。(1位になったのに、堂々と?何もご馳走しないという態度を示してみたいなあ…笑)。

ということで、あらかじめ言っておくが、星陵大賞になっても何も出ません(笑)。そんな下らないことを考えずに(…って、もともと考えていないとは思いますが)、精一杯自分たちの思いを舞台に表現してほしい。3年生各クラス、放課後準備を着々と進めているようだ。夏休み中の予定も決まってきたし、ぜひ400時間の学習と両立させて、「やるだけやった!」という夏休みにしてほしい。